

Niigata HIGASHI Weekly Report

新潟東ロータリークラブ週報
No.2822 // 2016.2.19



国際ロータリー第2560地区
新潟東ロータリークラブ
会長：北村 慎一
幹事：野崎 裕
編集：広報委員会
www.niigatahigashirc.com



- <司会> 那須野 幸作 SAA
- <斉唱> ソングリーダー：親睦委員 坂田 翔祐 君
- ・ロータリーソング「それこそロータリー」
- ・会歌「素晴らしき仲間」

北村 慎一 会長 挨拶



みなさん、こんにちは。
本日は、高崎北ロータリークラブの皆さん7名の方が友好訪問いただきました。歓迎申し上げます。後ほど卓話を宜しくお願いします。

先日、立教大学山口義行教授が講演したゼミに参加してきました。今週水曜日のNHKクローズアップ現代で「黒字企業が消えていく、廃業3万社の衝撃」を山口教授がゲストで解説していました。山口教授は経済学の先生ですが、これからの時代は「隣接異業種」の挑戦について学んできました。「中小企業経営者が今なすべき事とは？」というサブテーマについての講演です。今の世の中いつ何時自身の業種が衰退しないとは限りません。かといって中小企業の場合、大企業のように複数業種に乗り出していけるほど体力がある訳でもありません。

そこでリスクヘッジのひとつとして、1つ新規事業の芽を立ち上げておくことも重要だと力説しています。「隣接異業種」とは何か。簡単に言うと、自社の業種に隣接している、つまり自社からみて利用する、もしくはされる業種ということです。「5%の挑戦」と言われました。

中小企業が新規開発や新規分野への進出は自社の売上げの5%の範囲内でチャレンジすべきとっていました。

もし、失敗しても企業の存続に関わるような事にはならないということです。そして「何をやるか？」ではなく「何が出来るか？」という考えが大事ということです。その中で「隣接異業種」という開発手法（何が出来るかという視点で考える）を紹介されました。

例えば、自動車販売業、不動産業、駐車場活用土地所有者、石油スタンド、ブランディング提案者がグループを組んで駐車場利用提案で顧客情報を共有すれば、ビジネスチャンスは拡大の可能性が高い！！

新規事業を立ち上げるのは簡単ではありません。ですが、業績が好調もしくは横ばいのうちに取組んでおかないと、実際に衰退しはじめたときには間に合いません。ネタ次第ではありますが、立ち上げるまで少なくとも1年から数年はかかります。是非、我がロータリアンの中でも「隣接異業種」を研究してみても、如何ですか！！

若い世代に夢のある事業を継承していきたいものです。SRIグループの成長目指して！！

ゲスト・ビジターの紹介



●ゲスト：のんびり青山
菅原さん、堀さん

●県外ビジター：高崎北RC
梅山 哲 君（会長エレクト、新潟東RC友好クラブ委員長）
室賀 康志 君（副会長）
廣瀬 正史 君（幹事）
大井田 健一 君（副幹事）
竹中 隆 君（会長ノミニ、奉仕プロジェクト委員長）
堤 謙治 君（プログラム委員長、次年度幹事）
佐野 隆男 君（副SAA）

伝達事項

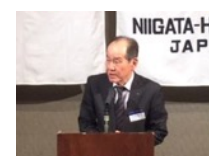


●米山功労者マルチプル 感謝状
本間 健一郎 君、宮川 忠和 君

表彰



●100%出席バッチの贈呈
青野 勉 君 29年
河崎 順昭 君 40年



(10年以上出席者スピーチ)

委員会報告



●田淵 展子 君
健康ランチ紹介



●社会奉仕委員会
のんびり青山 菅原さん
本日商品引渡し日



●雑誌・広報委員会
近藤 彰 君
ロータリーの友2月号紹介



●ニコニコBOX委員会
野澤 修 君

●青野 勉 君
100%出席バッチ 29年
アツという間の29年でした。中年入会の素人がいい勉強をさせて頂き、感謝です。

●河崎 順昭 君
100%出席バッチ 40年
昨年は3回の入院手術。少しこわれ始めましたが50年にむかって健康管理いたします。

●北村会長、野崎幹事
高崎北RCの皆様ようこそいらっしゃいました。
歓迎いたします。

●高崎北RCの皆様
総勢7名で2年ぶりに参加させていただきます。
本日はよろしくお祈りいたします。

●月間賞
佐藤 真介 君、池田 江里子 君



卓 話



●「だるまについて」
高崎北ロータリークラブ
幹事 廣瀬 正史 君

次回例会 2月23日(火) 7RC合同例会
26日(金)は振替休会です

本日の出席率 66.13%
2週間前メイクアップ後 85.48%

